



## 「環境首都・札幌」宣言

「環境首都・札幌」を目指すことを宣言し、「さっぽろ地球環境憲章」を制定します。

### さっぽろ地球環境憲章

#### 前章～総論

わたしたちは、四季折々の美しい自然と豊かな文化を次世代へ伝え、地球と札幌のより良い環境を創造する札幌の市民です。

#### 1章～自然環境

豊かな水やみどりを守り、育むまちをつくれます。

#### 2章～省資源・循環型社会

資源をむだなく使い、ごみの少ない循環型のまちをつくれます。

#### 3章～エネルギー

エネルギーの消費を減らし、自然エネルギーを活用するまちをつくれます。

#### 4章～消費活動

環境に配慮した製品や食材を、進んで利用するまちをつくれます。

#### 5章～都市環境

環境への負荷が少ない交通網を活用するまちをつくれます。

#### 6章～教育・学習・人づくり

環境保全について学び、行動するまちをつくれます。

#### 7章～地球的視点と平和

地球環境の改善に寄与し、世界の平和に貢献するまちをつくれます。

平成20年6月25日 札幌市



### 編集・発行

札幌市環境局環境都市推進部環境共生推進担当課  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎12階  
TEL:011-211-2879 FAX:011-218-5108



この冊紙は印刷用の紙にリサイクルできます。



<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/>

# 札幌市 生物多様性レポート

〈平成26年度〉

平成26年(2014年12月)

札幌市

## 目次 CONTENTS

生物多様性さっぽろビジョンの概要	2
コラム～生物多様性の基礎知識～	3
札幌市の取組	4
企業・団体の取組	8
生物多様性さっぽろビジョンの進行管理	9
札幌市の取組一覧	10

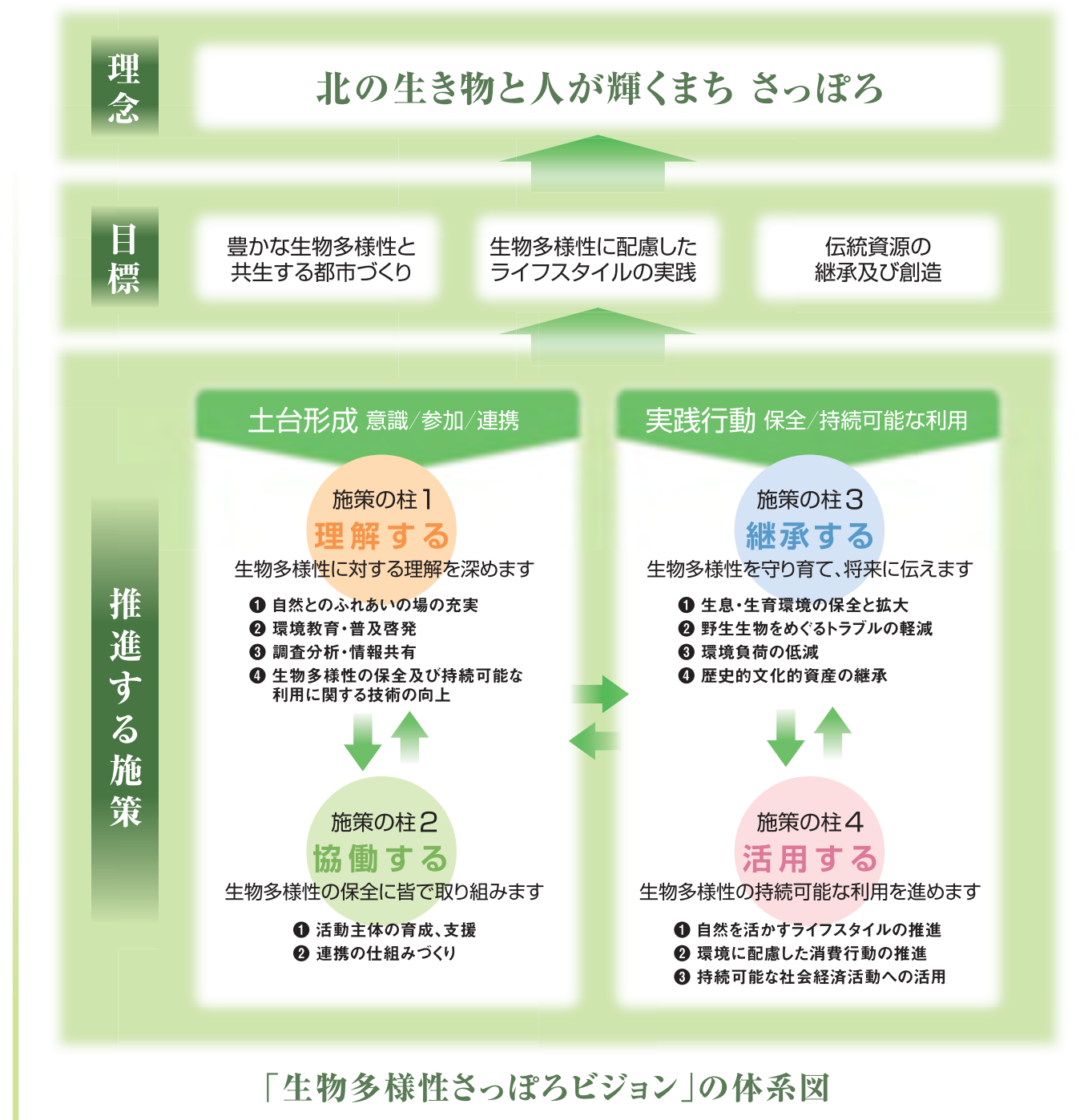
札幌市は、平成24年度に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、今、温暖化と並ぶ深刻な地球環境問題となっている生物多様性を守るため、さまざまな取組を進めています。札幌市生物多様性レポートでは、平成25年度の取組について報告します。

## 生物多様性さっぽろビジョンの概要

札幌市では、生物多様性に関する取組の方向性を示す長期的な指針として「生物多様性さっぽろビジョン」を策定し、体系的・総合的な施策の推進を図っています。

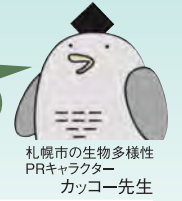
札幌市は、190万人を擁する一大消費地でありながら、南西部には山地が広がるなど豊かな自然が残っている大都市です。

ビジョンに掲げる「北の生き物と人が輝くまち さっぽろ」の理念のもと、市民やNPO、事業者などのあらゆる主体とともに、生物多様性の保全のため、札幌市の自然環境を保全するとともに、市民一人ひとりのライフスタイルの見直しを進めていきます。



## 生物多様性の基礎知識

札幌市の鳥は、わたくしカッコウなのです。生物多様性についてわたくしが解説するッコー



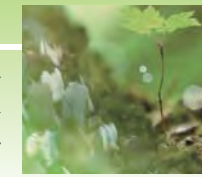
**生物多様性とは** “生き物どうしのつながり”を表す言葉です。

地球上には、約175万種、未知のものも含めると3,000万種とも推定される生き物が存在しています。すべての生き物は、食べたり食べられたり、競争したり、助け合ったりして、互いに関係しながら複雑につながりあって生きています。このように様々な生き物が存在し、それぞれがつながり合っている状態を表すのが「生物多様性」という言葉です。

**生態系サービス** 私たち人間の命と暮らしは、生物多様性の恵み(生態系サービス)に支えられています。

### すべての生命の基盤です

植物が酸素をつくり、微生物が豊かな土壌をつくるなど、多くの生き物の営みによって、生命の生存環境が支えられています。



### 生活の糧です

多様な生き物は、食物・衣服・木材・燃料・医薬品など生活に必要な資源として、衣・食・住を支えています。



### 豊かな文化の根源です

地域の多様な生態系や生き物は、精神的豊かさ、自然観などの形成などに寄与し、祭り・宗教・郷土料理など、地域の自然に根づいた文化の土台となっています。



### 生活の安全を支えます

豊かな森林生態系は、水を蓄えたり、二酸化炭素を吸収するほか、土砂崩れの防止や防風などの機能を持っています。

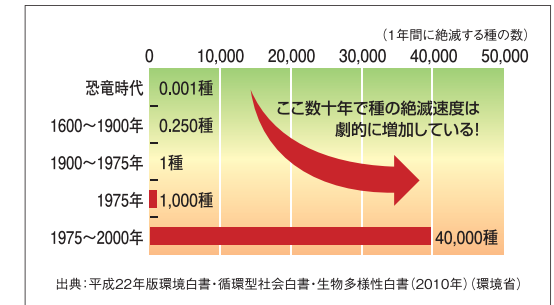


**生物多様性の危機** 今、多くの生き物が絶滅の危機にあります。

生物多様性は、主に人間活動の影響により、4つの危機にさらされ、急速に失われつつあります。

現在、1年間に4万種ともいわれるスピードで生き物の絶滅が進んでおり、将来的には人類も存亡の危機に直面することが懸念されます。

- **第1の危機：開発や乱獲による危機**  
開発や乱獲、過剰な採取によって、多くの生物が絶滅の危機に直面しています。
- **第2の危機：自然に対する働きかけの減少による危機**  
人工林や農地の放置等により、里地里山に暮らす動植物が絶滅の危機にあります。
- **第3の危機：外来種や化学物質の持ち込みによる危機**  
外来種の中には在来種を捕食したり、生息・生育場所を奪ったりするものがあります。化学物質には動植物への毒性をもつものがあります。
- **第4の危機：温暖化など地球環境の変化による危機**  
平均気温が1.5～2.5℃上がると、動植物の20～30%は絶滅のリスクが高まるといわれています。



**生物多様性を守るには** できることから始めましょう。

自然環境や札幌に生息・生育する動植物を守るだけでなく、省エネルギー・節電などの地球温暖化対策や、地産地消やごみ減量など、環境に配慮した行動は生物多様性の保全につながります。

札幌市では、日常生活の中で実践できる生物多様性保全の取組をまとめたハンドブックを作成しています(詳細はP4上段)。

## 札幌市の取組

札幌市では、「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、生物多様性に対する理解の促進及び保全に向けた行動の実践を推進するため、さまざまな取組を進めています。

生物多様性の保全

自然環境の保全とライフスタイルの見直しを進めます。

### 生物多様性推進事業

環境局 環境共生推進担当課 Tel.011-211-2879

### 生物多様性さっぽろ実践ハンドブック

理解 協働 継承 活用

生物多様性を守るために今すぐに取り組める行動をまとめた「今、できることから始めよう!!～生物多様性さっぽろ実践ハンドブック～」を作成しました。

ハンドブックの作成にあたっては、市内中学生による子ども企画委員会で内容を検討するとともに、一般向けに開催したワークショップでいただいた意見も反映させました。

このハンドブックでは、日常生活の中ですぐに取り組むことのできる30事例を紹介しています。また、取組事例を「触れあおう」「広めよう」など6つの行動に分類したり、取り組んだものをチェックできるようチェックリストを掲載するなど、子どもから大人まで、多くの方に活用してもらえるような工夫をしています。



<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/handbook.html>

### まちなか生き物活動 ～さっぽろシードソン2013～

理解 協働 継承 活用

「まちなか生き物活動」は、生物多様性に対する市民の関心と理解を深めるとともに、多様な主体の行動や連携の促進を図ることを目的とし、まちなかで生物多様性の保全に関する活動を行うもので、NPO団体や企業などから広く企画提案を募集し、優秀な企画提案者に対し業務を委託し、活動を行いました。

平成25年度は、秋の植物一斉調査「さっぽろシードソン2013～秋の生き物調査隊～」を実施し、10月5、6日の2日間で、延べ506名の参加者が市内の60か所の公園・緑地等で秋に見られる木の実やタネ、花の調査を行いました。

調査では、希少種や外来種を含め、札幌市に生育する植物1,800種の約30%にあたる543種が確認されました。

また、シードソンの活動報告会では、札幌市立大学の矢部和夫教授による基調講演とともに、とりまとめた結果の報告や参加者代表による取組結果の発表を行いました。

※「シードソン」は「シード・ウォッチング・マラソン」を略した造語です。

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/machinaka/25seedthon.html>



### 生物多様性シンボルマーク・キャッチコピー

理解 協働

札幌市では、平成25年12月から平成26年1月にかけて「生物多様性シンボルマーク総選挙」と「生物多様性キャッチコピーコンテスト」を実施し、本市の生物多様性シンボルマークとキャッチコピーを決定しました。

生物多様性シンボルマークとキャッチコピーは、生物多様性について多くの市民の方にご理解いただくため、「生物多様性さっぽろ」の文字と組み合わせ、パンフレットやポスターなどの印刷物やホームページ、啓発品、イベントなど幅広く活用しています。

シンボルマーク総選挙の最優秀賞を受賞した菊池 はるかさん(札幌市立大学)の作品は、円を地球に見立て、植物やチョウ、魚、熊、人間といった様々な生き物を1本の線で描くことで、地球上の多種多様な生き物の存在とそのつながりを表現しています。

また、キャッチコピーコンテストで最優秀賞を受賞した工藤 わかばさん(札幌市立陵陽中学校)の作品「つながる ひろがる 命の輪」は、地球上のすべての生き物のつながりと、そのつながりによって広がる生命の強い結びつきを表現しています。

[http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/mark\\_catchcopy.html](http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/mark_catchcopy.html)



※シンボルマーク・キャッチコピーは、市民、事業者、市民活動団体など、どなたでも使用することができます。

### 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク

理解 協働 継承 活用

札幌市では、平成25年10月、札幌市内の環境関連施設による「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」を立ち上げました。

このネットワークは、生物多様性保全の活動拠点として位置付ける15施設(平成26年10月現在)及び札幌市で構成し、拠点間の情報共有や連携・協働を進め、生物多様性に対する市民の理解促進と市内全体の生物多様性保全活動の活性化を図っています。

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/network.html>

#### ●活動拠点

札幌市円山動物園	札幌市豊平川さけ科学館
札幌市博物館活動センター	札幌市青少年山の家
札幌市環境プラザ	札幌市滝野自然学園
札幌市百合が原緑のセンター	札幌市北方自然教育園
サッポロさとらんど	サッポロピリカコタン
サンピアザ水族館	札幌市定山溪自然の村
札幌市豊平公園緑のセンター	札幌市動物管理センター
札幌市平岡樹芸センター	

### 生物多様性パネル展

理解 協働

生物多様性についての理解促進を図るため、市内各所で実施される環境関連イベントにてパネル展を実施しました。

平成25年	5月	「国際生物多様性の日」パネル展・ミニコンサート(札幌市役所ロビー)
	8月	環境広場さっぽろ2013(アクセスサッポロ)
	9月	さっぽろハーベストランド収穫祭(サッポロさとらんど)
	9月	さっぽろサケフェスタ2013(札幌市豊平川さけ科学館)
	11月	さっぽろ子ども環境コンテスト(札幌エルプラザ)
平成26年	2月	グリーンナーウィーク2013-2014 ～エコプロダクツ・エシカル展 in 札幌(ロイトン札幌)～

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/event.html>

